

1. 自立된 100教会의 設立
2. 主님의 일꾼의 養成
3. 작은 이웃들과 함께 사는 宣教
4. 在日同胞의 삶에 同參하는 奉仕

第43回定期総会開催

主題：和解를 이루시는 하나님의 役事に 同參하는 教会

(고후 5:18)

總會長에 李大京牧師 選出
總會立 神學校 設立 承認
解放50年 KCCJ 宣教使命 採択
世界宣教協力委員會等 3部署 新設



第43回定期總會에 參席한 總代들

第四三回定期總會가 十月九(十一)日 京都南部教會에서 開會했다.
「和解를 이루시는 하나님의 役事に 同參하는 教会」主題 아래 九日(月)午後七時 開會禮拜로 開幕했다.
開會禮拜에는 京都南部教會 信徒等 多數 出席하여 恩惠스럽게 進行했다.
副總會長 許唱業長老의 司會 아래 関西聖歌隊連合會의 讚揚、盧政一牧師가 在日同胞의 和解와 祖國의 統一을 위하여 金英世長老가 日本과 世界에 하나님을 正義가 實現되기를 위하여 祈禱하고 青年會全國協議會 徐潤純代表委員이 에스겔十一·二十九、全國教會女性連

合會 李雲求會長이 고후五·十七、十八을 朗誦金君植總會長의 「和解를 이루시는 하나님의 役事に 同參하는 教会」主題의말씀이 있었다.
金君植總會長은 在日同胞가 分斷된 狀況에 놓여 있고 祖國이 分烈된狀況에서 그리스도의福音으로 하나 되고 總會는 이르기 위해 부름받았다는 確信을 갖고 前進하자고 強調하였다.
聖餐式은 副總會長 李大京牧師가 執禮했고 朴茂樹、李炳球、文泰善、李聖柱諸牧師와 張鍾善、金鉄斗、朴憲昇、李炳春諸長老가 陪餐을 했다.
聖餐에 앞서 白頭山에서 가져온 나무와 한라산에서 가져온 나무를 康永變委員長과 趙福鎭總會長이 南北에서 가져온 포도주를 張子天總會長과 오경우牧師가 각각 들고 入場 解放五十年을 맞이하는 뜻깊은 聖餐式을 舉行한후 開會禮拜를 마쳤다.
十日에는 召天者 追悼禮拜를 朴壽吉牧師의 司會、慶惠重副會長の 祈禱、

李大京總會長의 說教와 祝詞로 閉會했다.
午前에는 會議에 들어가 來賓의 인사를 받고 各部報告는 報告書審査委員會에 回附하고 總務報告와 會計決算報告를 받았다. 午後에는 任員選舉가 있었으며 처음으로 任員만 選舉하고 局長・委員方法을 採択했다.
午後四時半부터 京都南部教會 獻堂式이 있었다. 밤에는 分科會의 時間이 있었으나 憲法審議를 하자는案이 있어 憲法審議途中、憲法을 더욱 研究檢討하기 위해 審議를 마치고로 하고 分科會에 들어갔다.
十一일은 李庇周牧師의 司會、李俊鶴牧師의 「새롭게 되시다」의 말씀、玄承植長老의 祈禱가 있었다. 獻議案 審査、局 活動發表、分科會 發表가 있었고 金德洙副會長の 祈禱、

南北統一聖餐式舉行

금번 總會에 서울에서 基督教大韓監理會、大韓에 수교長老會、基督教大韓聖潔會、韓國基督教長老會、洲韓人長老會、監督會長、總會長이 參席、한편 平壤에서 朝鮮基督教徒聯盟 康永變委員長이 參席했다.
開會禮拜 聖餐式에 南쪽의 막대기와 북쪽의 막대기로 十字架를 만들고 서울에서 가져온 포도주와 평양에서 가져온 포도주로 聖餐式을 舉行하여 主 안에서 하나가 되는 뜻깊은 行事을 했다.
代表的인 南北教會가 하 나의 상징을 말하는 첫 行事이다.



白頭山에서 가져온 나무로 十字架를 만드는 康永變委員長



文忠奉 副書記 崔正剛 書記 金德洙 副總會長 慶惠重 副總會長 李大京 總會長

任職員・委員長・監査									
總會長	李慶	副總會長	金慶	書記	崔文	副書記	趙朴	傳道局長	金趙
社會局長	金慶	婦女局長	李慶	青年局長	李慶	財政局長	李慶	人事局長	李慶
年金局長	金慶	憲法委員長	金慶	試取委員長	金慶	神學委員長	黃尹	平和統一宣教委委員長	金廣
世界宣教委委員長	金君	歷史編纂委員長	李慶	出版委員長	盧政	讚頌歌委員長	李聖	監査	金林
總務	姜金	總務	金金	總務	金金	總務	金金	總務	金金
總務	榮長	總務	英九	總務	秉鴻	總務	聖鴻	總務	政清
總務	一壽	總務	世鍾	總務	魯植	總務	雨植	總務	一植
總務	一壽	總務	世鍾	總務	魯植	總務	雨植	總務	一植
總務	一壽	總務	世鍾	總務	魯植	總務	雨植	總務	一植

社会・財政分科会로 가져 을 내다보고 展望 全總代가 参加하여 진지하게 論議

第四十三回定期總會에서는 解放五十年을 맞이해 總會의 發展을 期해 分科會를 가졌다. 總會의 基本 政策인 伝道 教育 社会 그리고 財政으로 나누어 全總代가 参加하여 全分科會에서 全分科會의 意見을 나누었다. 이 分科會에서 나온 意見을 各局 活動의 指針이 되어 앞으로 二年間 活潑히 展開되리라 바란다.

分科會 《伝道》

특히 在日의 状況에 맞는 教材, 마이노리티 民族 教會의 實情에 알맞는 텍스트는 매우 重要한 일이다.

一、礼拝時 用語 使用 二、礼拝時 用語 使用 三、아슈람運動 四、地方會別 伝道集會

一、禮拝時 用語 使用 二、禮拝時 用語 使用 三、아슈람運動 四、地方會別 伝道集會

分科會 《教育》

教會學校教師養成

日本社會가 靑少年 世代가 줄어드는 現狀이 總 會內에도 있다. 教會學校 學生數가 줄어드는 問題이며, 人材가 모자라 高等學校 敎師, 聖歌隊 敎師, 青年會 女性會 役 等 좋은 方法이다. 敎育 執事가 되는 敎育가 養成되야 할 必要가 있다. 三、靑年을 위한 禮拝 四、敎育에 關한 關心

一、敎會學校 敎材 二、敎會學校 敎材 三、敎會學校 敎材 四、敎會學校 敎材



活動計畫案을 檢討하는 敎育局員(上)과 社會局員(下)

六十代 敎師가 活躍하고 있다. 젊은 世代의 敎師가 不足하다는 問題도 있다. 敎師의 數에 비해 生徒數의 減소가 問題가 되고 있다. 敎育 執事가 되는 敎育가 養成되야 할 必要가 있다. 三、靑年을 위한 禮拝 四、敎育에 關한 關心

一、敎會學校 敎材 二、敎會學校 敎材 三、敎會學校 敎材 四、敎會學校 敎材

社會局

局長 金永秀

組織 趙載國(長), 尹宗銀, 李應周, 朴壽吉, 崔毅, 李昌雨, 朴憲郁, 崔正剛, 金幸子, 吳壽惠(準)

一、敎會學校 敎材 二、敎會學校 敎材 三、敎會學校 敎材 四、敎會學校 敎材

社會局, KCC, RAI K等과 擴大局會를 開催. 在日同胞의 人權獲得을 위한 綜合的인 戰略模案. 二、醫師·看護員 組織化 總會에 敎人中 六十餘 名의 醫師가 있다. 이를 組織化하여 社會福祉에 對 應이 되고 아세아의 醫療奉仕도 할수 있는 機會를 마련한다.

三、人權심포지움 KCC J宣敎戰略 심포지움을 繼續하고 在日同胞의 基本의 權益獲得을 위해 심포지움 등을 開催. 四、宗敎法人法 研究 現在 日本國會에서 審

世界宣敎 協力委員會 委員長 金君植 組織 金君植(長), 許唱業, 朴壽吉, 姜仁道, 李雲求(準)

活動計畫 一、宣敎後援會 組織 二、世界宣敎의 實態 披 握과 一元化 三、世界宣敎 理念 定立

試取委員會

委員長 尹宗銀

組織 尹宗銀(長), 李大京, 金君植, 金榮植, 黃義生

一、宣敎後援會 組織 二、世界宣敎의 實態 披 握과 一元化 三、世界宣敎 理念 定立

出版委員會

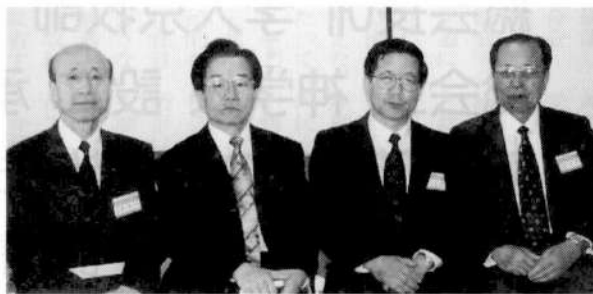
委員長 盧政一

組織 盧政一(長), 金鍾武, 李清一, 朴珍烈, 金桂吳

活動計畫 一、退隱敎役者의 說敎集 二、諸般 出版物 刊行

傳道分科會에서는 다음 과 같은 意見이 나왔다. 日本社會가 多民族 社會化하면서 在日同胞形 成도 複雜해 집에 따라 이르고 있는 實情에 對한 總會의 次元의 方 案이 要望되고 있다. 二、敎材 發刊 三、아슈람運動 四、地方會別 伝道集會

一、禮拝時 用語 使用 二、禮拝時 用語 使用 三、아슈람運動 四、地方會別 伝道集會



局會를 마치고 記念撮映하는 伝道局員

新年度活動方針

局長 朴米雄

活動計畫 一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

局長 趙載國

活動計畫 一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

委員長 李清一

活動計畫 一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

委員長 金廣照

活動計畫 一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

委員長 平和統一

活動計畫 一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

一、百教會 推進 二、百教會 推進 三、百教會 推進 四、百教會 推進

在日大韓基督教総会は、日本の植民地支配が始まる直前の一九〇八年、東京にきていた留学生による聖書研究会や祈禱会が出発点となった。

一九四五年八月十五日、神によって与えられた解放の日として記念するように、十年を迎えるにあたり、過去を謙虚に振り返り、その歩みの中でわれわれと共に歩んだ主の御業に感謝し、今日における宣教的使命について、決意を新たにするものである。

第一次世界大戦(一九一四〜一八)後、日本経済が好景気をむかえ、労働力が不足するに従い、多くの労働者が朝鮮から渡日し、関西地方を中心に全国に居住するようになった。これにより、朝鮮人への伝道も留学生から労働者へ、東京から全国へと、その対象や領域が広がった。国を奪われ、農地を無くし、生活の糧を求めて日本に來ざるを得なかった朝鮮人労働者は、ここでは蔑視され、差別の中で生活を余儀なくされた。教会は心の安らぎをおぼえ、故郷の消息や民族の痛みを分かちあう信仰共同体であり、祖国の解放を願う祈りと朝鮮語や日本語を習得するための学びの場でもあった。

一九三四年には、「在日本朝鮮基督教大会」創立総会が開催され、独立した教団を形成するようにまでなった。しかし、一九三九年、宗教団体が成立するに及んで、「在日」朝鮮基督教は存続の危機をむかえた。幾多の交渉を経て、一九四〇年「日本基督教」へ吸収合併され、さらに翌年の「日本基督教団」成立時には第一編入された。これより一九四五年の解放を迎えるときまで、「在日」朝鮮基督教という名称はなくなり、日本が太平洋戦争へと突入していく中で、同胞教会に対する弾圧は厳しさを増し、説教や公式記録は日本語使用を強制され、多くの信仰の先達が犠牲と苦難の道を歩んだ。

在日大韓基督教の宣教的使命 — 荒野の50年を越えて — 第43回定期総会で採択

在日大韓基督教は、日本における民族解放を迎えて多くの同胞が帰国する中で、日本に留まった教名のみならず、日本国籍取得した同胞や、日本の国際化による新しい在日者や訪問者をも含んでいる。このような状況の中で在日同胞のアイデンティティは、多様化している。この中でわれわれの教会は新しい使命と役割を期待されている。また在日同胞の苦難の歴史は、

一九四五年八月十五日、キリストの十字架における受難と類比できるものである。真の和解を成就するための産みの苦しみにあつたことを認識しなければならない。今日、脱冷戦時代の世界は新たな秩序を模索しており、新秩序の基礎は世界の全ての民族と種族集団が差別と不利益を受けることなく生きることにあり、「共生」社会にある。したがって、教会は神の創造秩序の保全を期して、人類が共に生きる社会を創るために遣わされている。

今日、在日同胞社会は、世代交替の進行、在日同胞の多様化、祖国の情勢変化などによって旧体制から新しい変革が起きようとしている。また近年に急激に増えている新しい同胞の渡来は、在日同胞教会に新しい課題を与えている。伝統的のエキシメニカルな連帯を産み出した。在日同胞が日本に定住する過程で味わった耐え難い苦痛のしこり、基本的な人権の確保のための戦いの中で隣人教会である日本の教会が示された一致と協力に対して深く感謝する。

解説

◎ 荒野の50年を越えて

在日大韓基督教は、日本における民族解放を迎えて多くの同胞が帰国する中で、日本に留まった教名のみならず、日本国籍取得した同胞や、日本の国際化による新しい在日者や訪問者をも含んでいる。このような状況の中で在日同胞のアイデンティティは、多様化している。この中でわれわれの教会は新しい使命と役割を期待されている。また在日同胞の苦難の歴史は、

宗教法人法改正 反対声明

在日大韓基督教は、日本国憲法に上程した「宗教法人法改正」案に反対し、断固として反対します。かつて日本政府は治安維持法によって在日韓国・朝鮮人を弾圧し、一九三九年に成立した宗教団体法によって「在日」朝鮮基督教は日本の教会に吸収合併させられ、解散に追い込まれました。

治安維持法と宗教団体法によって、このような弾圧と迫害を経験した在日大韓基督教は、戦前における同じ過ちが二度と繰り返されないことを強く求めます。そして私たちは今、日本政府がオウム真理教に「破壊活動防止法(破防法)」を適用し、さらに宗教法人法の「改正」によって、宗教への国家権力の介入のもとに信教の自由、政教分離の原則を踏み躪る危険性のあるこのもとろみを、とうてい許すことはできません。村山内閣は一九一〇年の「韓国併合条約」を正当化したことのない破防法をオウム真理教の事件を通して適用しようとするもくろみは将来、在日韓国・朝鮮人百万をはじめ、多くの在日外国人に対する弾圧に及ぶ危険性が伴うものであります。



在日大韓基督教 第43回定期総会

総務総括報告 ①

多様性 속에 一致를 追求하는 教会

総務 姜 栄 一

우리 주님의 은혜와 사랑이
第四十三回定期總會
를 맞이해 總代 여러분과
總會에 所属한 教会와
豐盛하시기를 祈禱합니다.
또한 본總會의 發展과
教協力を 더욱 緊密하게

하기 위해서 定期總會에 柱
臨해 주신 韓國教會를 비
로 來賓 여러분께 眞心으
로 感謝를 드립니다.
지난 第四十二回總會期
「하나님의正義에 의한平
和와 信賴」(이사야 32:16
「17」)란 標語 아래 金君植
總會長님을 비롯하여 任
職員 여러분들의 協力으로
總會가 時代的 使命을 감
당하고 하나님께 願하시고
마라시는 하나님의 宣敎
에 매진하고 하나님께서
거주신 萬國教會를 섬기
며 教會의 一致를 위해 祈
禱와 協力を 아끼지 아니
한데 對해 深遠한 感謝
를 드립니다.
저는 總務 就任에 있어
「내가 그들에게 一致한 마
음을 주고 그 속에 새신
을 주어 그 몸에서 굳은 마
음을 세우고 부드러운 마
음을 주어서」(에스겔 11:19
「20」)란 말씀으로 우리 總會
가 하나가 되기를 부탁드
린 바 있습니다. 또한 多
樣性 속에 一致를 追求하
기를 總代 여러분에게 呼
訴하기도 했습니다.
지난 二年을 돌이켜 보
면 時代的 變遷과 世代交
替의 激變이 일어나고 있
는 가운데 教會와 地
域은 얼마나 가까운 存
在인가도 疑問이 되었고
그리고 우리가 採
括을 해 보고자 합니다.
今年는 우리 민족이 解
放된지 五十年이 되는 해
이며 總會는 새 歷史 五
十年이 되는 뜻 깊은 해
이기도 합니다. 그러나 지
난 一月十七日 아침 神戶
를 中心으로 일어난 地震
은 많은被災民을 냈고 많
은 被害를 입었습니다. 이
災禍로 日本社會는 價値
觀의 轉換을 가져왔습니
다. 많은 사람들은 무엇
이 貴重하고 무엇이 珍
貴하고 무엇이 尊重해야
하는가를 再考했습니다.
또한 教會의 設立자
에 對한 疑問이 起
어졌을지 모르겠습니다.
저는 먼저 지난 五十年
을 簡單하게나마 回顧와 總
括을 해 보고자 합니다.

株式会社 ニューキング
有限会社 三 愛

取締役社長 張 鐘 善
(名古屋教會長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

韓國家庭料理
有限会社 高馬宇

代表取締役 金 元 洙
(東京中央教會長老)

本店 〒105 東京都港区新橋3-18-4
TEL 03(3431)3921, 03(3435)7809
FAX 03(3435)0706
荏原中延店 〒142 東京都品川区中延2-8-13
田畑実業ビル1F
TEL 03(3785)1020

愛三産業株式会社

(株) 濟州カントリークラブ

取締役会長 白 昌 鎬
(東京教會長老)

取締役社長 白 一 善
(東京教會執事)

本社 〒130 東京都墨田区江東橋4-6-4
TEL (03) 6333-7477(代)
FAX (03) 6331-7703